

「話そう！語ろう！わが家の約束」運動を推進しています！
あったかい親子コミュニケーションを！



東濃地区の子育て・親育ちつうしん 家庭教育 なう

平成30年11月発行
恵那県事務所振興防災課
家庭教育担当：奥村
〒509-7203
恵那市長島町正家後田 1067-71
TEL：0573-26-1111（内線 209）
FAX：0573-25-7129
MAIL：q02042@govt.pref.gifu.jp

冬休みの生活につながる「わが家のルール」づくり（幼児期）

子ども達は、家庭でのルールや約束を守ったり破ったりしながら、人との関係の在り方や社会のルールの大切さを学んでいきます。

しっかりと身に付け
させるために

- ◇一貫性をもたせ、夫婦がよく相談してはっきりとしたルールをつくりましょう。
- ◇子どもとともに親もルールを守りましょう。
- ◇子どもの意見を聞いて、一緒につくるという姿勢も大切です。

＜わが家のルール＞ランキング（幼児期）

- 1 自分のことは自分で
- 2 毎日少しずつ勉強
- 3 お手伝い
- 4 早寝早起き
- 5 あいさつ・お礼・気持ちのよい会話
- 6 テレビとのつきあい方
- 7 ゲームの時間

「みんなで子育てⅡ」Ⅲ-2 我が家のルールより

家庭教育学級の紹介

中津川市子育てマイスター養成講座 子育て支援の現場から～子育てホットアドバイス～

講演会型
子育てサロン型

日時 平成30年11月6日（火）10:00～12:00
場所 中津川市にぎわいプラザ
参加者 子育てマイスターを目指す方（35名）
〈保護者・保育士・託児指導員・支援センター指導員・学童指導員 等〉
講師 利用者支援専門員 林 智子 氏

子育て支援の「わざ」を学ぶ家庭教育講座

中津川市は、文科省が推進する「学校を核とした地域力強化プラン」の取組の一つである家庭教育支援推進事業に平成30・31年度の2年間取り組んでいます。その中の人材育成事業として子育てマイスター養成講座（年12回）を開催しています。10月3日の開講式に続き、11月6日は2回目の講座でした。

主催者の思い

地域の子ども達が笑顔になれるように、子育てについて楽しみながら学びます。講座を修了すると認定証をお渡ししています。市の子育てを支えるマイスターとして活躍していただくことを願っています。

講座の内容

受講生全員による手遊びからスタートした講座は、受講生同士すぐに仲良くなり、終始和やかに進みました。

最近の子育ての情報や子育て支援センターにかかってきた子育て相談の電話の事例を挙げながら、グループ交流をしたり、役割演技をしたりすることで、具体的な子育て支援の「わざ」を学ぶことができました。

最後は、子育て支援センターで行っている「朝の会」を全員で体験し、楽しく講座を終えることができました。



講話「子育て支援の現場から」



子育て支援センターの朝の会を体験

【このよさを学びたい！】

- ・主体的に養成講座に参加された方ばかりで、2時間の講話中、熱心にメモをとり、頷いて話を聴き、意欲を感じる講座だったこと。
- ・実際に子育て支援に長く携わってこられた林先生のお話は、大変具体的で、誰もがやってみようと思える内容だったこと。

多治見市立南姫小学校家庭教育学級 講演会「お天気キャスターからのメッセージ」

学校行事参加型
講演会型

日 時 平成30年11月10日(土) 9:50~10:50
場 所 多治見市立南姫小学校 体育館
参加者 全校親子
講 師 気象予報士 お天気キャスター 石橋 武宜 氏



親子講演会を通して家庭での親子のふれあいが深まる家庭教育学級

中京テレビ「キャッチ!」「前略 大徳さん」に出演中で、東海3県を中心に毎日天気と元気を発信されているフリー気象予報士の石橋武宜氏の講演会でした。お天気クイズや気象予報士の仕事、テレビ局の裏側等、プロジェクターを使って、子どもから大人まで楽しく学べる講演でした。

主催者の思い

授業参観後の親子で学ぶ企画を考えていた時、市内の役員の交流から、石橋さんのことを教えていただき実現しました。天気を通して、親子の共通の話題ができ、親子のふれあいが深まってほしいと思います。

講演の内容

- ☆中京テレビの情報番組「キャッチ」の紹介
- ☆天気の話
雨つぶの形は? イチョウを漢字で書くと?
日の入りの時刻は? 三日月はどれ?
- ☆テレビ局でどんなふうに撮影している?
- ☆空の話
夏の雲は? うろこ雲とひつじ雲の見分け方?
雲の名前は? ひこうき雲で天気が分かる?
- ☆なぜ気象予報士になったのか
- ☆番組ができるまでの一日の仕事
- ☆そして、伝えたいこと
好きなことをたくさんやること。
それは必ず将来役に立つことがある。



クイズを入れながら天気の話



撮影中の裏話

【このよさを学びたい!】

- ・学校間の役員のネットワークから開催された講演会です。情報を共有することで、聴きたい講演会が実施できたこと。
- ・当日は、授業参観→親子講演会→親子下校という日程で、半日の流れの中で、参加しやすかったこと。
- ・親子で同じ講演を聴いたことで、家に帰ってからの親子のコミュニケーションが深まること。

中津川市子育てフォーラム 子育て講話「見つめてみよう 私の子育て」

講演会型
子育てサロン型

日 時 平成30年11月14日(水) 10:00~12:00
場 所 中津川市中央公民館
参加者 0~3歳児の保護者(42名) 行政担当者等(23名)
講 師 元東京家庭教育研究所講師 佐藤 カヨ 氏



講演会を通して自分自身の子育てを考える家庭教育学級

講話では、子育ての場面を想定した具体的な対応について学ぶことができました。講話の後、子育てに関わる市の担当者を囲んで、グループ交流会を行いました。子育て中のお母さん同士で、乳幼児学級や託児のある美容院の情報などを交流したり、市への要望を出し合ったりしました。

講演の内容

- ☆豊かな心を育てる。見えない心を育てるのは、お母さんの言葉。
- ☆独立自治の精神を培う。自分のことは自分で。
- ☆人間的な適応性を養う。我慢の心、辛抱の心を育てる。

【このよさを学びたい!】

- ・講話を聴いた後の交流会は、共通の話題となり、話がはずむこと。
- ・各グループに市の担当者が入ることで、親の考え、市の考えが交流できたこと。



市担当者を囲んでのグループ交流会

中津川市加子母乳幼児学級 「中学生のお兄さんお姉さんと遊ぼう」

体験活動型
子育てサロン型



日時 平成30年11月21日(水) 10:00~11:30

場所 ふれあいのやかたかしも

参加者 0~3歳児の親子(22名) 加子母中学校2年生(33名)

講師 音楽教室講師 日下部亜希子氏 子育て支援センター「くるりんぱ」の方2名

乳幼児のお母さんと中学生の交流から命のめぐもりを学ぶ乳幼児学級

加子母公民館では、毎年、0~3歳児の親子と中学2年生が交流する乳幼児学級を開催しています。中学生のお兄さんお姉さんと遊ぶ小さな子ども達とお母さんの笑顔。赤ちゃんを抱っこしたり小さな子に話しかけたりする中学生の優しい笑顔。そんな笑顔に包まれた温かい乳幼児学級でした。

内容

- ☆日下部先生とくるりんぱの方による手遊びと音楽遊びからスタート
- ☆0~3歳児の親子と中学生が一緒になったグループで自己紹介
- ☆中学生による大型絵本の読み聞かせと手作りおもちゃのプレゼント
- ☆質問タイム
中学生からお母さんへ お母さんから中学生へ
日下部先生からお母さんへ
- ☆手作りおもちゃを使って音楽遊び
- ☆中学生から合唱のプレゼント



中学生による大型絵本の読み聞かせ

【参加者の感想】

- ・今日のふれあいで子どもを育てる大変さが分かった。感謝の気持ちで生活したい。(中学生)
- ・いい刺激を受けて過ごすことができた。(親)

【このよさを学びたい!】

- ・赤ちゃんを抱っこし、小さい子とふれあうことで、どんどん表情が優しくなっていた中学生。優しい心を学ぶ交流会だったこと。
- ・地域のお母さん同士、子ども同士のつながりができたこと。

瑞浪市PTA連合会母親委員会(研修) 講演「子どもが賢くなる『お片づけ』の力」

講演会型
子育てサロン型

日時 平成30年11月22日(木) 19:00~20:40

場所 瑞浪市文化センター

参加者 瑞浪市PTA連合会母親委員(21名)

講師 株式会社グラフィック取締役 水野久美子氏(片付け収納マイスター認定講師)

交流の様子



生活に役立つテーマの講演から参加者同士が学び合う家庭教育学級

「片づけを通して、子ども達に付けることができる力」や「整理・整頓・収納の考え方」についての講演に、参加者は、頷きながら熱心に耳を傾けていました。講演の後は、全員で顔を見合いながら、水野氏を交えて意見交流をしました。飲み物や役員の方の手作りのカステラもあり、和やかに交流が進みました。

講演の内容から

- ☆片づけで子どもが身につけることができる力 「決断力」「分別力」「管理力」→「生きる力」となる。
- ☆片づけには、「時間的な・精神的な・経済的な・健康上の・コミュニケーション上の」メリットがある。
- ☆片づけとは、整理(いるものだけにする)・整頓(なかま分けをする)・収納(物の位置を決める)することである。

【意見交流から】

- ・子どもが片付けができるようになるには、自分達親がきちんとできていること、環境作りが大切。
- ・始めに収納グッズを買うのではなく、仕分けしてからにすること。

【このよさを学びたい!】

- ・講演のテーマが生活と子育てにすぐに役立つ内容だったため、講演の内容がそのまま交流の内容となり、学び合いが自然にできたこと。



講演の様子

冬休みの生活につながる「わが家の約束」づくり (小中)

家族の約束を守る子は、社会での約束も守ります

親は子にとって、一番身近な他者です。
その親との関わり方をもとにして、将来、より広い社会で他人との関わりを作っていきます。
親との約束を守る子は、社会に出ても約束を守ることが大切だと考える子に育ちます。

約束を守れるようにするには・・・

決めるときは・・・
約束の必要性を子どもと話し合う
 大人の考えで押し付けたものでなく、子どもが納得して作った約束なら、子どもも守ろうとします。

守れたときは・・・
認める言葉をかける
 「ありがとう」の一言でも十分。親が認めているということを言葉に出して伝えることで、子どもはやる気になります。

守れなかったときは・・・
繰り返し話し合う
 約束を守れなかった理由を聞き、守れるようにするにはどうすればよいかを再度話し合うことで、子どもが自分の行動や気持ちを見直します。

「みんなで子育てⅢ」10 我が家の約束より

「話そう！語ろう！わが家の約束」実践カードを活用することができます。

岐阜県ホームページ
↓
岐阜県 家庭教育 検索



「話そう！語ろう！わが家の約束」実践カード

「家庭教育実践する日」は 毎月第3日曜日と「8」のつく日です。

わが家の約束宣言

月日	/	/	/	/	/	/
曜日						
約束を守りましたか						

○取り組んだ感想や家族への思いを書きましょう。 ○子どもへの励ましの言葉等をお願いします。

子どもから 家族へのメッセージ

保護者から 子どもへのメッセージ

☆ 学校で楽しかったことや がんばったことも 家族に話しましょう。

岐阜県では 企業内家庭教育研修 を推進しています

企業内家庭教育研修は、企業・事務所と連携しながら、子育て中の親だけでなく、これから親になる従業員、子育てが一段落した従業員、管理職等、幅広い層の皆様を対象に、「出前講座」として開催し、働く皆様によりよい家庭づくりのお手伝いをします。内容やテーマ等についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

連絡先：恵那県事務所（恵那総合庁舎内） 振興防災課 振興防災係
 TEL 0573-26-1111（代）内線 209 <担当者 長瀬・奥村>
 FAX 0573-25-7129